

機器・分析技術研究会 2023 熊本大学 報告

共通機器部門 共通利用機器管理班 前田誠

1. はじめに（目的等）

来年度本学で開催される機器・分析技術研究会の視察として、熊本大学で開催された機器・分析技術研究会へ参加した。また、各大学での分析機器の運用状況に関する情報収集も行った。

2. 期間・場所

期間：令和5年9月6～8日

場所：熊本大学黒髪キャンパス（オンサイトのみ）

3. 参加者等

計135名（学外115名、熊本大20名）

4. 研修内容

6日 開催前日の会場の視察 7日 特別講演（熊大教員による研究紹介）、特別企画（協賛メーカーによる分析器の紹介）、ポスター発表（45件）、8日 特別企画（協賛メーカーによる分析機器の紹介）、特別講演（熊大教員による研究紹介）、口頭発表（参加者による担当装置に関する技術紹介など）

5. まとめと感想

開催前日の準備から視察することで、機器・分析技術研究会の開催当日の流れを正確に把握することができた。本学では、オンサイト&オンラインのハイブリット開催を目指しているため、全く同じ流れにはならないが、本学での開催に向けて大変参考になった。ポスター会場では発表者としてしっかり意見交換を行うことができた。その際には、直接の発表内容だけでなく、お互いの学内の状況等についても話し合うことができた。但し、ポスター45件に対して90分という発表時間は短かったように思う。懇親会等も含めて、様々な事柄に関して他大学の技術職員と意見交換ができたことは大変有意義だったと思う。